

令和 6年度

事務事業評価表 ( 令和 5年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 6 年 4 月 11 日

事務事業名		中学校施設維持管理事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020103000144
						単独/補助	単独	所属課	090101
政策体系		政策体系上の位置付け						課長名	学校教育課
総合計画の施策名		O201 学校教育の充実						グループ	企画・営繕グループ
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり						担当者名	
施策名		O1 学校教育の充実							
手段名		O3 ③教育環境の整備							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
		01	10	03	01	02	00	中学校管理事業	
								単年度繰返し (平成17年度~)	
								期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠		桜川市立学校設置条例、桜川市立学校管理規則、桜川市教育委員会事務局組織規則							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)
	<p>【事務事業の内容】 中学校施設維持管理のため、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払い。</p> <p>【事業費の内訳】 中学校施設維持管理のため、修繕費、保守点検業務委託費、メンテナンス業務委託費、設計見積費、工事請負費等、借地賃借料。 ※学校用務員報酬を含む。</p>
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>中学校施設維持管理のため、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注</p> <p>借地面積 桜川中 4,705㎡</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
中学校施設維持管理のため、借地賃借、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び工事発注	施設維持管理費	千円	103,143.00	103,143.00	103,143.00	103,143.00	103,143.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
市立中学校	市立中学校数	校	4.00	4.00	4.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
市立中学校の教育環境の改善、充実	改善された中学校数	校	4.00	4.00	4.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	141,608	192,502	145,149			
	事業費計(A)	千円	141,608	192,502	145,149			
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

05年度事業費 実績 (千円)

06年度事業費 予算 (千円)

01 報酬	6,387		01 報酬	6,762		
03 職員手当等	898		03 職員手当等	2,057		
08 旅費	280		05 災害補償費	10		
10 需用費	30,263		08 旅費	376		
11 役務費	2,366		10 需用費	33,508		
12 委託料	8,441		11 役務費	2,285		
13 使用料及び賃借料	18,451		12 委託料	10,022		
14 工事請負費	118,545		13 使用料及び賃借料	8,022		
17 備品購入費	6,871		14 工事請負費	72,384		
	合計	192,502	17 備品購入費	9,723	合計	145,149

(4) 当該年度の実施内容

06年度の事業内容

07年度の事業内容

08年度の事業内容

※年度ごとに事業内容を記入する	中学校施設維持管理に伴い、必要箇所の修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払い等を行う。	中学校施設維持管理に伴い、必要箇所の修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払い等を行う。	中学校施設維持管理に伴い、必要箇所の修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払い等を行う。
-----------------	---	---	---

事務事業名	中学校施設維持管理事業	事務事業No.	20103000144	所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
中学校建設時から。現状としては、校舎等の老朽化が進み、修繕を必要とする箇所が多岐にわたり、増えている。 桃山中学校が平成30年度から桃山学園義務教育学校となり、1校減となった。 桜川中学校が令和7年度に桃山学園義務教育学校と統合するため、1校減となる。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
老朽化の対応及び学校数の見直し。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 中学校施設を改善していくことは、学校教育の基本施策である安心安全な教育環境づくりに結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市立中学校施設であるため、市が行うことは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 施設維持管理に関することから施設が存在する限り継続するものであり、現時点では向上余地がない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 教育施設環境が悪化する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特になし。	
⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費については、統合により中学校数を減らすには難しい。人件費については、施設に対する知識と経験が必要とされるため委託等は難しい。	
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市立中学校の全施設であるため、一部の受益者に偏っていない。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨	学校施設の維持管理は、市の業務であるため、施設の老朽化により、業務量が増加している。今後、適正配置等が進まなければ、対象物件が減少しないため、人員の適切な配置が必要である。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 ⇨ <input type="checkbox"/> 改革改善を行う ⇨ <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">向上維持</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	向上維持	向上		○	×	低下	×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																		
		削減	維持	増加																
向上維持	向上		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ④																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>